

陶地域

陶連合自治会

★活動の概要

陶地域では、平成20年4月に地域を包括する団体として陶連合自治会を立ち上げ、活発な活動を展開しています。

★交付金額

9,354,000円

★地域の情報(連合町内会単位)

地区人口	2,478人
世帯	1,076世帯
地域の キャッチフレーズ	美しい心ふれ合う陶

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

■ 陶づくりセミナー事業

山口県立大学や市の地域づくりアドバイザーの協力を得て、青壮年対象の「明日の陶を考える」をテーマに学習しました。参加者から貴重な意見やアイデアが多く出て、これからの地域づくり計画に反映できそうです。



■ 活動グループの育成事業

前年度開催の陶づくりセミナー熟年世代から要望があった「ふれあい農園クラブ」が誕生しました。共同での菊栽培と個別の野菜作りを楽しんでいます。今後、地区民の自主的な活動が進み、地域づくりにも活かすことができます。



■ 自主防災対策事業

地域内3カ所に防災用具収容の保管庫を整備すると共に、「陶地域防災を考える会」の講座を6回開催しました。講座を基に「陶地区防災マップ」を作成して全戸に配布しました。

これを契機に、数集落の自治会では自主防災組織が立ち上がりました。次年度には、陶地区全体の自主防災組織も立ち上げる予定です。





■ 三世代交流推進事業

小学校の参観日に、参観後を利用したPTA、子ども会、老人会等共催の「陶小ふれあい広場」を開催しました。高齢者の指導の下に、約10グループに別れて昔の遊びや物作りを体験し、グラウンドゴルフ大会も行いました。多くの方が集い、楽しい三世代交流でした。



■ ふるさと再発見事業

市民団体(YAN)や市と協働で、古い着物を蘇らせる表装・書展、陶須恵器展、お地蔵さまスタンプラリー等、多彩なイベントを開催しました。県外を含む地区外からの来訪者も多く、陶のことをPRするよい機会になりました。この事業をとおして、市民団体からイベント開催の色々なノウハウを学ぶことが出来ました。



【今後の地域づくりに向けた思い・取組み】

これまでの取り組みを基本に、反省点を活かしながら、今後も住民の願いである「きれいな地域づくりを進める陶」「心豊かに暮らせる陶」を目指して地域づくり活動を展開していきます。

鑄銭司地域づくり協議会

★活動の概要

各専門部会の活動に重点を置き、鑄銭司らしさを尊重した活動として、「一戸一鉢運動」、「長沢池・歴史を誇る地域づくり」、「向こう三軒両隣推進活動」を実施しました。

★交付金額

10,291,800円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	2,818 人
世帯数	1,358世帯
地域のキャッチフレーズ	「住んでよかった これからも住みたい」鑄銭司

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

■一戸一鉢運動

- ・7月…国体推奨花のサルビア・ブルーサルビア・マリーゴールドの3種類の苗、プランター、土、固形肥料、まちづくり協議会キャラクター入りシールを全戸配布しました。
- ・11月…チューリップの球根を全戸配布しました。

家庭でも出来る地域づくり、近隣との話題の提供を目的として実施しました。

5カ年計画の主な事業の一つであるので、来年以降も配布を続けていく予定です。

プランター貼り付けシール



集落自治会長を中心に全世帯分の苗を配布。集落内のコミュニケーションにもつながった。

■地域総意結集パッチワーク応援幕

地区内の集落自治会、企業、団体、学校、施設に山口国体山岳競技応援寄せ書き用の白布を配り協力をお願いしたところ、157枚のメッセージが集まりました。

それを1枚に縫い合わせ、大規模な応援幕となり、山口県セミナーパーク山岳競技会場に展示しました。

11月には、鑄銭司ふるさとまつりの会場において地域の方々に披露しました。



↑「総意結集パッチワーク応援幕」の上からの餅まき(「鑄銭司ふるさとまつり」において)

■みんなにやさしい暮らし安心ガイド「すぜんじ」

鑄銭司地域に多く存在する福祉施設を知る目的で教育民生部会が作成しました(写真入り施設紹介)。

高齢者相談窓口や、子育て、健康に関する窓口も紹介しました。

また、地域の方が利用しやすいように、地域内の店舗および事業所の電話番号やサービスを掲載しました。一般家庭、企業の双方が有利となるような地域ガイドとして、地域の方々の活用に期待するところです。



■すぜんじマップの作成

銭の菓子本舗(四辻駅前)に、地域の名所や施設等を掲載した「鑄銭司マップ」案内板を設置しました。



■長沢池斜面芝桜植え付

2月12日、環境部会による防草シートの張り付け作業。苗を植える3700箇所にカッターで切り込みを入れました。

2月19日、大村神社前の長沢池斜面に3700株の芝桜植え付け作業に、青少年健全育成会や子ども会を中心に約100名が参加しました。

今後の管理が課題となりますが、5色の芝桜が長沢池を彩り、地域住民の憩いの場となるように、整備を続けていきます。



三世交代交流を目的として実施した芝桜植え付け作業

■全体として

- 周防鑄銭司跡
- 大村益次郎
- 長沢池
- 企業との交流 など

地域の特色を生かした事業の展開を、専門部会を中心に推進していきたいと考えています。

名田島自治会連合会

★活動の概要

初年度に策定した5カ年計画の進捗状況の把握と評価をしながら「安心・安全な名田島」を目標に活動しました。

★交付金額

7,268,320円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	1,501人
世帯数	569世帯
地域のキャッチフレーズ	住んでよかったと実感できる名田島

※数値は、平成24年3月31日現在

■ 総務部会

○ 情報ネットワーク

・ホームページの開設

<http://www.natajima.com/jichikai/>

・広報紙「田園」の発行・会議報告書の回覧

※評価 地域内外への情報発信が可能となり、活動内容を周知することができました。

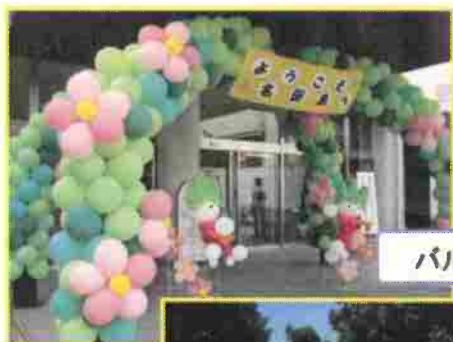
○ 自治会連合会活動の拡充

・地域イベントの協賛

※評価 ボランティアの方々の協力・地域民間の一致団結力が強まりました。

○ 山口国体

※評価 地域住民の一致協力により、成年女子バレー開催地の地元として貢献できました。



バルーンアーチ



子ども会みんなで描いたロールペール

■ 生涯学習部会

○ ふるさと探訪

・ふるさとめぐりマップ標識看板の設置

・スタンプラリーサイクリング共催

※評価 地域の名勝・旧跡に子どもたちの関心が高まるとともに、広く名田島を知ってもらえました。

○ 通学路の安全対策

・見守り隊活動の支援

○ 小学校改築に伴う運動場の芝生化の検討



スタンプラリーサイクリング

ふるさとめぐりマップ看板



■ 健康福祉部会

- 若者の定住促進
 - ・空家、空地の調査実施
 - 世代間交流事業
 - ・どんど焼き、ウォーキング行事共催
 - 健康講座開催
 - ・県立大学長を講師に招いた講演を実施
 - リサイクルマナーの向上
 - ・市お気軽講座の活用
- ※評価 ふれあう機会の少ない世代間の交流や絆が生まれました。
- ※課題 学童保育の開設、ニーズにあった講演の実施が必要です。



どんど焼き

■ 防災部会

- 防災訓練の実施
 - 河川増水の監視(見回り活動)
 - 消火講習会
- ※評価 好評につき今後も継続していきたいと考えています。



避難訓練

一人も残すな



炊き出し班

■ 生活環境部会

- 道路、河川、里道の整備 安全対策の推進
 - ・地区要望の集約、現地確認、要望書提出、補助金交付
 - 美化運動(クリーン作戦)
 - ・ボランティアによる草刈
 - ・不法投棄看板の設置、周辺草刈
 - ・市道清掃
- ※評価 地区民の安全、美観、環境整備に貢献できおり、活動を継続していきたいと考えています。



法定外公共物等
整備事業



※今後に向けての地域の思い、取り組みなど
「住んでよかったと実感できる名田島」を基本目標に、本地域の課題である少子高齢化対策、小学校改築に伴う対応、道路・河川・里山美化整備、安全対策、防災関連の課題について、引き続き地域の実情を把握するとともに、地域づくり計画の見直しを1年前倒し、「第2次協働・福祉のまちづくり計画(H25～29年度)」策定に取り組むことにしています。

秋穂二島地区連合自治会

★活動の概要

秋穂二島地区では、「HOT 愛を二島」(ほっとあいをふたじま)を理念に掲げ、地域づくりに取り組んでいます。

★交付金額

6,980,545円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	2,638人
世帯数	1,092世帯
地域のキャッチフレーズ	HOT 愛を二島

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

■ HOT 愛を二島コンサート

地域住民の情操を養ってもらうことを目的に、昨年度に引き続いて山口芸術短期大学から演奏者をお招きし、二島小学校体育館でコンサートを開催しました。

小さなお子さんから大人まで親しみのある曲の演奏や迫力ある生演奏が身近に体感できるため、たいへん好評でした。

今後も、広報宣伝に力を入れながら、地域の恒例行事として取り組んでいき、更なる集客力につなげていきたいと考えています。



■ 地産地消 B 級グルメ審査会

もっと地域の良さを知ってもらうとともに、地域活性化につなげていくことを目的として、地元の農水産物を使った審査会を開催しました。

応募は5品で、最優秀作品は、たまねぎや紅きらが使用された「ふたじまライス」に決まりました。好評により地域のまつりやフォトロゲニング山口 in 阿知須でも披露されました。

引き続き地元の農水産物を使った料理を通じて地域を楽しく盛り上げるとともに、地域が活性化するような商品化できる作品が創作されることを期待しています



■ 兜山古墳整備事業

「兜山古墳」は、周辺に縄文時代の土器が発見されている遺跡もあり、見学者も多いことから、古墳に続く山道を整備し、説明看板も設置しました。秋穂二島地区連合自治会では、地域からの情報提供により忘れかけていた古墳をよみがえらせるため、市と協働し、「兜山古墳講演会」を開催しました。40名を超える参加があり、遠い昔の二島地域に思いをはせる中で、当時の人々の生活や地域の歴史などに興味をもたれていました。登山道の整備は、その場で呼びかけ40数名の理解者により実施しました。



■ 健康福祉部会と地域住民との交流会 ～遊びにおいでよ！『子ども広場』～

子育て支援活動の一つとして、二島幼稚園で、子育てに関する講演会や茶話会、昔のあそびなど親子で楽しめる『子ども広場』を開催しました。

秋穂二島地区連合自治会健康福祉部会を中心とした8団体で知恵を出し合い、企画・運営したことにより、各団体の横のつながりが密になり参加者からも大変好評な催しとなりました。また、参加者に対して「子育てに関するアンケート」を実施したことにより、今後、地域での子育て支援策を考えていく上で成果のあるものとなりました。



【今後に向けての地域の思い、取組みなど】

「HOT愛を二島」を地域づくりの理念のもと「人づくり」「二島にしかないものをつくり」「いろいろなものの拠点づくり」に取り組み、地域のふれあいを大切に、一人でも多くの人に参加できる環境づくり・情報の発信を心がけた活動を行います。

嘉川地域づくり協議会

★活動の概要

嘉川地域では5つの部会を設けて部会ごとに嘉川の地域づくりに取り組んでいます。

★交付金額

8, 582, 354円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	7, 053人
世帯数	2, 778世帯
地域の キャッチフレーズ	調和のとれた地域の発展と 安心・安全な住みよい嘉川

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

■ 地域防災活動

自主防災組織の立ち上げの推進を図るため、規程の見本を作成し、自治会長に配布、説明を行うとともに、自主防災組織づくりの必要性についての講演会を4月と11月に開催したところ、延100名の参加者がありました。

特に、今年度は防災資機材等の希望調査を全自治会に対して行い、真砂土置場の設置(下写真)、携帯用の吸水土嚢など、防災機材の整備も努めてきました。

防災に対する関心、意識が高まってきていますが、自主防災組織に対する意識についても、高めていきたいと考えています。



【今後の地域づくりに向けて】

地域の将来展望を描く中で、地域課題の把握や地域づくり活動への参加者・協力者の確保等に苦慮している状況ですが、自治会を中心とする協議会の組織の充実や、ボランティア組織の力を結集した協働の体制づくりを目指しています。

今後も人材を養成しながら輪を広げていき、地域の発展のため活動を進めていきます。

■ 嘉川地域づくり協議会広報紙

広報紙については、社会部会が中心に委員会を立ち上げ、10月、3月の年2回、自治会の協力のもとに、全戸配布しました。

協議会の活動や予算等の報告の掲載とともに、延34名が執筆しました。

内容としては、10月号では自主防災組織の立ち上げや清掃活動等を紹介し、さらに特集として「第1回嘉川の史跡・遺跡めぐり」参加者の寄稿文を載せ、次回の史跡・遺跡めぐりの参加に繋げました。

3月号では「あいさつ運動」をテーマに募集した作文の優秀作の掲載、中高生・若者ボランティアサークル「きずな」や嘉川子ども館「しゅっぱっぽ」の活動、地域福祉の見守り活動や児童・生徒の安全確保、禅定寺山の登山道整備やニュースポーツの勧めまで多様な活動を盛り込み、広い世代に関心を持っていただくことで地域活動への参加を呼びかけました。

今後、内容や紙面構成等を一層充実させ、より親しみやすい広報紙にしたいと思います。

■ 地域環境美化活動の推進

嘉川環境美化推進事業委員会が中心となり、各自治会を始め関係団体と中高生・若者ボランティアサークル「きずな」の皆さんの参加を得て、「嘉川清掃の日」として、今坂、岡屋インター付近、大原、千見折周辺、嘉川駅前等の一斉清掃を実施しました。

今年度は山口国体の参加者をおもてなしする意味も込め、山口国体開催前の9月25日(日)に実施しました。

多数の地域住民の参加があり、清掃活動を通じて地域住民同士の交流も深まり、情報交換の場としても大きな効果がありました。



■ 子育て支援組織活動と支援

川西中学校2年生を対象に「いのちの学習・ちびっこ大集合」を始めて平成23年度で10年目を迎えました。

自分の命の大切さと家族への感謝の思いを、感じてもらう活動です。

今年度は地域づくり協議会の助成を「いのちの学習・ちびっこ大集合」のまとめパンフレットを作ることに活用しました。

まとめパンフレットを配布することで、この活動を支える地域の多くの組織のモチベーションの向上を図るとともに、地域住民のみなさんに子育て支援活動と関係組織を広く知っていただく機会となりました。



佐山地域

佐山地区地域づくり協議会

★活動の概要

自主防災組織の強化や不法投棄防止対策など、前年度の事業に引き続き取り組むとともに、新たな取り組みとして、電話帳や地域振興・福祉活動計画の作成などにも取り組みました。

★交付金額

6,901,814円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	2,817人
世帯数	1,025世帯
地域の キャッチフレーズ	住みよい佐山の まちづくり

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

■ 自主防災組織の基盤強化

海と山の地形を併せ持つ佐山地域の特徴から、平成23年5月には海側の地区で高潮を想定した訓練、11月には山側の地区で土砂災害を想定した避難訓練を実施しました。

当日は、各訓練ともに約200名の参加者が集まり、自主防災本部、各自治会の自主防災組織を中心に、情報伝達、要援護者の搬送、避難所の炊き出し訓練などを行いました。

また、山口大学等との協働事業として、無線LANシステムを利用した避難支援システムの実証も行いました。



●シニアポーズ、車いすを使った搬送訓練



●実践さながらの自主防災本部の伝達訓練

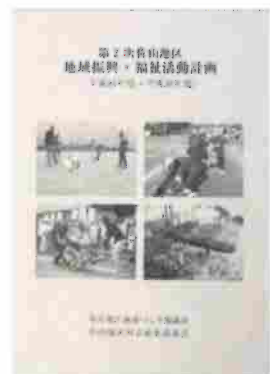
■ 地域振興・福祉活動計画の策定

地域住民、社会福祉協議会、関係団体等の連携、協力により、佐山地域の平成24年から5か年間の振興・活動指針計画を策定しました。

計画は、保険、福祉等の6分野を、17の生活課題に分けて設置しており、それぞれ実施内容や、主な推進団体を記載しています。

計画は、地域内に全戸配布しており、今後、実行委員会により、計画の具体化、チェックを行います

●今後の地域の指針となる重要な計画です



■ 佐山地域ごみゼロ大作戦の実施

山口国体を前に、各自治会やPTAなど総勢550名により、地域内の主要道路のごみ拾いを実施しました。

約1時間の作業で、空き缶やペットボトルなど約250袋が集まりました。



●国体参加者を気持ちよくお出迎えしました

■ 不法投棄防止用防護柵の設置

佐山地域内の海岸線や山間部には、近隣に民家がなく人通りが少ない上に車両等の乗り入れが可能な場所が数多く存在しており、家庭や事業所等のごみなどの不法投棄が後を絶たず、その対応に苦慮しています。その対処のひとつとして、昨年度より、慢性的に不法投棄がある場所に、防止用フェンスを設置しています。

設置後は、自治会等の維持管理も兼ねた見守りもあり、不法投棄が激減しています。



●かなりの効果がありました

■ 不法投棄防止用ミニ鳥居の設置

「不法投棄防止用防護柵」の設置に併せて、平成23年度からは、佐山地域内の不法投棄があった場所やありそうな場所に、不法投棄防止用のミニ鳥居を設置しています。

ミニ鳥居は、夜間でも目立つように、反射テープを貼るとともに、「ごみゼロへの挑戦」の文字も入れ、地域内の不法投棄撲滅の啓発の効果も担っています。

現在、ミニ鳥居は、各自治会長等の協力により、佐山地域内の約17箇所に設置しており、絶大な効果を得ていることから、次年度以降も継続事業として取り組む予定です。



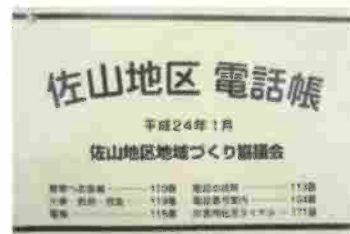
●目にも鮮やかな鳥居が見張っています

■ 佐山地区電話帳の作成

防災、防犯の観点からも地域内の連絡網の必要性により、電話帳の作成の案が浮上したことから、各自治会長等の協力により、作成についての地域内全戸を対象としたアンケートを実施したところ、高い支持を得たことから作成の運びとなりました。

作成した電話帳には、あらかじめ掲載を希望した地域住民のみが掲載されており、配布についても、電話帳の掲載者で、かつ購入希望者のみに、購入者の負担金の100円をいただき配布しました。

電話帳は、地区別に区分、高齢者でも見やすいように大きな文字を使用するなどの工夫をしており、購入者からは、「とても使い勝手がよい」との評価をいただいています。



●文字も大きく見やすい電話帳です

■ 産業団地北公園グラウンドの整備

佐山地域のグラウンドスポーツの中心的な役割を担う、産業団地北公園グラウンド(通称物流グラウンド)は、近年、草等がはびこり、グラウンド表面も荒れて状態が悪いことから、草刈りと表面整地を行いました。

おかげで、見違えるようなグラウンドとなり、グラウンドゴルフやソフトボール、サッカーなど幅広い用途に利用されています。



●佐山地域のスポーツ振興の中心場所です



小郡地域

おごおり地域づくり協議会

『ふれあい』『生きがい』『支え合い』で
心豊かに暮らせる地域づくり

★活動の概要

住民からの意見をしっかり受け、地域のニーズや課題に対して様々な事業に取り組み、地域づくりの充実に向けた活動を行いました。

★交付金額

14,349,200円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	24,494人
世帯数	10,650世帯
地域の キャッチフレーズ	みんなが 笑顔で暮らせるまち

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

■ 地域振興

- ・地域座談会 ・ファシリテーター養成講座
- ・おごおりクール！まち発見 ・情報誌発行
- ・防災センター研修 ・教育機関との連携
- ・ふるさと塾・史跡スケッチ大会 ほか

山口農高生と
まち発見
ワークショップ



↑
ふるさと塾で、
フィールドワーク

■ 地域福祉

- ・高齢者の生きがいづくり ・笑いの研究 ・体操
- ・地域の支え合い三世代交流・子育て支援 ほか



全戸配布
笑顔カレンダー

■ 安心・安全

- ・防災備品の整備 ・校区内危険箇所パトロール
- ・カーブミラー設置 ・子ども見守り隊支援 ほか



土のう用
←土砂置場の
整備

子ども見守り隊の
ブルゾンと
帽子を250着作製 →



■ 土木工事(法定外公共物)

- ・7ヶ所の道路、水路の整備事業



農業用水路 ↑
整備前



整備後 ↓

■ 環境づくり

・花いっぱい運動 ・ダンボールコンポストで生ごみ減
量化・ごみの不法投棄防止運動 ・除草、清掃活動



ダンボールコンポストで
生ごみの減量化

地域内一斉清掃



!(^^)!
回し付きで
地域間交流の
おもてなし



山口市の天然記念物
『オゴオリザクラ』の保護育成

■ 地域個性創出

・ほたるまつり ・もっバラおごおり
・小郡カローリング大会

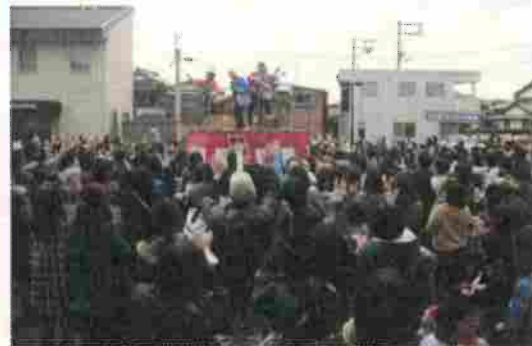


カローリングで三世代交流

綿菓子 →
大きいね



もっバラおごおり 餅まきでフィナーレ



※ 今後に向けての地域の思い・取組み

自治会や各種団体が地域内で連携協力し、幅広い世代の意見を反映させる仕組み作りを行い、お互いに支え合い、安心安全で住みよいまちづくりを推進します。

地域の一体感を図るため、P(計画づくり)D(事業実施)S(ふりかえり)サイクルを展開し、評価・反省をもとに次に活かし、地域課題の解決や地域の活性化に取り組めます。



★活動の概要

『たの SEA 秋穂づくり協議会』は、32自治会と42団体が組織し、地域振興、地域福祉、安心安全、環境づくり、地域個性創出の5つの柱で事業展開しています。

★交付金額

13,361,944円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	7,128人
世帯数	2,561世帯
地域の キャッチフレーズ	青い海 愛する秋穂 海老のまち

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

■ 地域振興

広報活動

秋穂地域の活動・情報等を『みんなの地域情報紙あいお』で発信しています。(月1回)

ホームページも開設しており、旬な情報を紙面と同様に広く皆様に提供しています。

＜評価＞地域内外に活動が広がっています。



秋穂地域づくり協議会
発行
発行所
秋穂地域づくり協議会
〒950-0001 秋穂町大字秋穂1-1-1
秋穂地域づくり協議会
TEL 023-862-1111
FAX 023-862-1112
E-MAIL aio@sea-hisai.jp
www.sea-hisai.jp

地区夏祭り開催支援

それぞれの地区の皆さんが、趣向をこらし、大人も子どもも楽しまれています。

＜評価＞地域が活性化し、近隣地区にも好評です。



■ 地域福祉

スポーツ推進行事支援

スポーツ交流フェスタ・市民体育大会・浜村杯(ロードレース)等支援しています。

＜評価＞記念大会でゲストランナーを迎え、盛り上がりました。

青少年活動支援

地域イベント等に多数活躍しています。



国体推進活動支援

スポーツ交流フェスタで、国体炬火イベントを実施しました。炬火名『かがや秋穂の希望の火』



■ 地域振興

地域づくりリーダー育成

先進地視察で、7月23日～24日にかけて、福岡県宗像市地区まちづくり、松島地区防災のまちづくり及び防災センターでの防災模擬体験、那珂川町でのオリーブ園視察を行いました。

災害に対する意識を身近に感じてもらい、まちづくりの方向性と地域防災について改めて考えた良い研修になりました。

＜評価＞災害の意識の確認をする事ができ、実りのある研修となりました。地域の中での今後の取り組みに大いに活かしていきたいと考えています。

松島地区『防災のまちづくり』会長講話



那珂川オリーブ園
視察研修

■ 環境づくり

地球温暖化防止

秋穂の取り組みとして、地球を愛しむエコ活動の一環になればという思いから、昔ながらの風呂敷を作成。アイ言葉・・・『エコなアイオ』を秋穂から発信すべくカタチにしました。

＜評価＞秋穂からアイを発信！！する事業も計画から長い期間検討し、ようやく完成にこぎつけましたが、これからまた発展していけるよう活動していきたいと考えています。



『秋穂からアイを』
青い海・アイ♡・エビを盛り
込んでいます。

環境美化運動

観光資源価値を高めるための清掃活動及び地域環境美化活動を行いました。

＜評価＞参加者を継続的に確保したいと考えています。

コミタク交通支援

時刻表作成とバス停看板修理を助成しています。



阿知須地域づくり協議会

★活動の概要

少子高齢化が急速に進み、厳しい財政状況のもと、一人暮らし・高齢者生きがい支援に阿知須自治会連合会とともに取り組みました。この他にも地域づくり応援隊(人材バンク)を組織し、各種事業に協力いただきました。

★交付金額

11,301,200円

★地域の情報(地域づくり協議会単位)

地域人口	9,336人
世帯数	3,639世帯
地域のキャッチフレーズ	「心豊かな元気で住みよい阿知須づくり」

※数値は、平成24年3月31日現在のもの

■ 地域振興事業 広報活動

阿知須地域づくり協議会だよりを年間6回発行しています。

地域づくりの活動内容(事業等)への理解、協力を得ることができ、地域の幅広い年齢層に情報を発信することができました。

今後も、より多くの地域住民に情報提供できるよう活動していきます。



■ 環境美化事業

平成23年度は、山口国体開催の年でもあり、年間通してきれいな阿知須になるよう、地域の環境美化に努めました。

毎年、有志の皆さんで「海の日」に海岸清掃をされていましたが、今年度からは地域づくり協議会の主催で、阿知須地域のボランティアのみなさんで海岸清掃を行いました。

千鳥ヶ浜清掃の様子



井関川一斉清掃

地域づくり協議会の事業の一環として、井関川沿いの自治会及び子ども会の皆さんに多数ご参加いただき一斉清掃を実施しました。



■ 健康づくり支援事業

健康ウォーキング実践隊と称し、ウォーキングでの健康長寿を目標に、「ウォーキングの正しい知識を学ぶ」山口県健康づくり財団から講師を招いて開催しました。



「秋のあじす三社めぐりウォーク」を開催しました。参加者67名で熊野神社、日吉神社、北方八幡宮を巡りウォーキングを楽しみました。



■ 賑わい創出と一人暮らし支援事業

福祉の駅あじす

《構成団体》

阿知須地域づくり協議会

阿知須自治会連合会

老人クラブ阿知須支部

山口市社会福祉協議会阿知須支部

《事業内容》(案)

✚ 少量の食材販売

✚ 引きこもり対策(カラオケ)

✚ いぐらの館等来訪者対策

(簡易食堂)

✚ 憩いの広場

✚ 文化の薫る催事

写真は旧百十銀行(山口銀行の前身)現 柏谷家住宅



大正7年建築の歴史的和風建築物で文化財としても後世に残すべきもので、柏谷家のご好意により借り受けることになりました。内部をリフォームして下記事業を展開の予定です。



